学力向上推進チームかわら版

あしすと

第３１号

発　　行
平成 29 年 10 月 13 日
富山県総合教育センター
学力向上推進チーム
TEL：076（415）6226
E-mail：suishin@tym.ed.jp
http://gaku.el.tym.ed.jp/

平成 29 年度　学力向上講演会（H29.9.5）

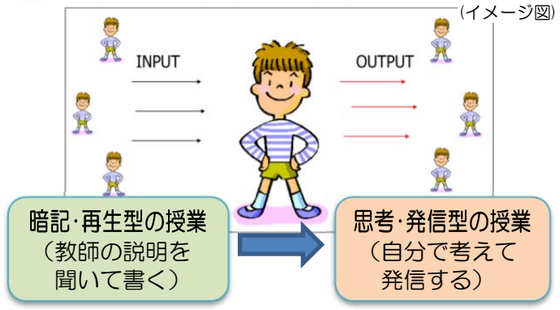
「学習指導要領改訂の方向性 ー主体的･対話的で深い学びの実現に向けてー」

國學院大學　　教授　田村　学　先生

がんばろう富山の先生！

【主体的･対話的で深い学びへの授業改善】

（イメージ図）



今回の改訂では、授業を思考・発信型へ移行させるとともに、内容や質のさらに向上させることが求められています！

❶切実感のある課題を設定しましょう。

○子供の内面にある問いを引き出すことが大切です。

対象と出合わせるときには、子供に自分の考えとの「ずれ」や「隔たり」、「あこがれ」「可能性」等を感じさせましょう。

（例）　現在の状況を他と比較する

前はどうだったのかな。未来はどうなるといいかな。（時間軸での比較）

他の地域ではどうなのかな。（空間軸での比較）

自分は○○と思うけど、みんなはどうかな。（友達との比較）

問いを顕在化させましょう。
違和感「気になるな」
必要感「何とかしたいな」
矛盾「解決したいな」

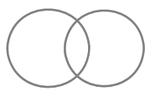
教師の期待する方向に向かうような教材の準備や学習活動の設定も必要です。

❷学級の全員が考える、学び合う学習活動を心がけましょう。

○考える活動における「思考ツール」の活用が、学級全員の関わり合いや思考を促します。

それぞれのねらいに合った「思考ツール」（例）

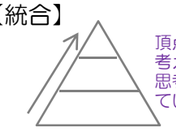
【分類】



ベン図

視点を定めて分類したり、共通点や相違点を明確にしたりする

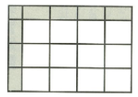
【統合】



ピラミッドチャート

頂点に向けて考えを統合し思考をまとめていく

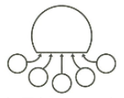
【多面的思考】



二次元表

多くの対象を複数の視点で分析する

【因果関係】



クラゲチャート

原因と結果に分けて考えたり、根拠を明確にして考えたりする

「深い学び」のキーワードは、「つなぐ」「関連付ける」です。
◇知識・技能を相互につなぐ　→生きて働く知識になる
◇知識・技能を場面や状況とつなぐ　→未知の状況で活用できる知識となる
◇知識・技能を学習の目的とつなぐ
→学びの手応えを感じ、学びに向かう姿勢が育まれる

子供が、様々な情報を関連付けて知識を再構成し、学びの質を高めていくことができるようにしましょう。

❸１時間の授業で付けた力を確実に実感させましょう。

○授業の終末で、振り返り（事実の確認・一般化・自己変容の自覚）を意識して行うことが大切です。

既習の知識･技能を異なる場面や状況に適用する力を育みます。

前に勉強したあのことは、今日の勉強でも使えたぞ。もしかして、この後も使うことができるのかな。

「自ら学ぶ、共に学ぶ」子供の姿が「主体的・対話的で深い学び」につながります。

・私ってすごいんだな
・もっとやりたい
・このクラスでよかったな

充実感･達成感･自己有能感･一体感

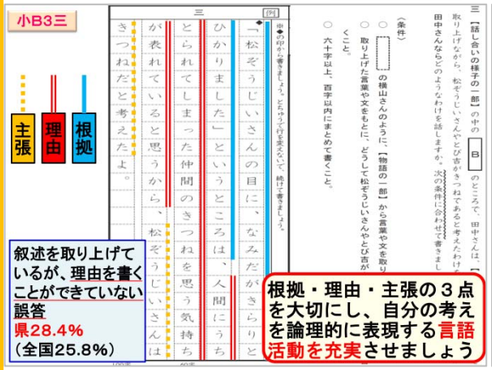
資質・能力の育成は、日々の授業での実践の積み重ね・繰り返しが大切です。

全国学力・学習状況調査結果からみえる課題（富山県）
ー田村先生の講演に課題解決のヒントがー

国語科

具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることに課題がある。

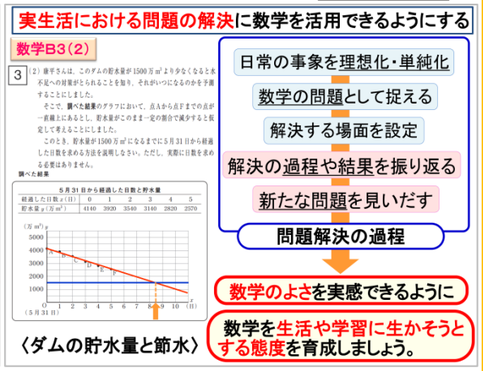
例【小学校国語Ｂ３三】 正答率 48.4%



算数・数学科

日常生活の問題解決のために 既習の知識･技能を活用して判断することに課題がある。

例【中学校数学Ｂ３（２）】 正答率 21.6%



児童生徒質問紙・学校質問紙

これらの問題解決の過程を充実させる学習活動について、質問紙でも問われています。

〔児童生徒〕学級やグループの中で自分たちで**課題を立て**て、その解決に向けて情報を集め、**話し合いながら整理して、発表する**などの学習活動に取り組んでいたと思いますか　【小 58 中 60】

小学校 富山県 75.6%　全国 75.1%　中学校 富山県 73.2%　全国 71.3%

〔学校〕授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで**課題を設定**し、その解決に向けて**話し合い、まとめ、表現する**などの学習活動を取り入れましたか　【小中 41】

小学校 富山県 71.6%　全国 82.3%　中学校 富山県 74.1%　全国 75.1%

※　数値は、「よく行った」「どちらかといえば行った」の合計

自校の結果を分析し、「深い学び」に結び付く言語活動の一層の充実を目指しましょう。

全国学力・学習状況調査結果に関する資料の活用を！

ー児童生徒の学び、そして、先生方の指導力向上に生かしましょうー

分析支援ソフト

国報告書

県報告書

授業アイディア例

対策のヒント